

草津市立
老上中学校
学校だより
R5(2023). 4. 17

老中魂

「校訓」
「自主・創造」
文責 竹田 敏彦

新入生の皆さん！ご入学おめでとうございます。

4月10日（月）、草津市教育委員会教育委員松嶋徹也様や保護者の皆様にご出席いただき、第45回老上中学校入学式を挙行了しました。216名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。呼名の際に返事をしている新入生の皆さんの姿を見て、これから始まる中学校生活への大きな希望や強い意気込みが感じられました。

校長の式辞では、新入生の皆さんに大切にしてほしいこととして、何点か話をしましたので、その一部を紹介します。

これから始まる中学校生活への期待がある一方、不安もあるかもしれませんが、心配はいりません。老上中学校には、温かく支えてくれる先輩や先生がいますし、今周りにいる同級生もかけがえのない存在となるのではないのでしょうか。わからないことや困ったことがあれば、一人で悩まず周りの人に気軽に相談してください。



さて、本校では昭和五十四年の開校以来、自主・創造を学校の校訓として、自ら考え、正しく判断して行動できる生徒の育成に力を入れています。別の言い方をすると、本校の合い言葉の一つ『『考動する』生徒になろう』ということになります。この「考

老上中学校 私たちの合い言葉
考動する生徒になろう。
わかりあえる生徒になろう。
きたえあう生徒になろう。

動」とは、あえて、「考えて動く」と表現されています。「自分でよく考え、何かをしようと思うこと」、それが考動です。言われてするのではなく、一人ひとりが自分自身で考えて何かをやるうとすれば、新しいことを創り出すことにもつながります。老上中学校でのこれからの三年間、このことを忘れずに中学校生活を送ってほしいと思っています。

中学生としての出発にあたり、二つのこととお話し、今後の中学校生活に役立てほしいと思います。

一つ目は、「仲間とともに自ら学ぶ」ことです。学校は集団で学ぶ場です。知識を得て、それを生かして課題を解決する方法を学ぶ場です。それは、教科の授業のことだけではありません。部活動や行事の中でも老上中学校の一員として、様々なことを体験し学んでいきます。自分さえよければいいと思ったり、受身で聞いたり体験したりしても、皆さんの本当の力にはつながりません。共に学ぶ仲間とともに、意欲を持って主体的に学んでください。

二つ目は、仲間づくり、「友達を大切にすること」です。自分自身はもちろん、他人を大切にすることは、ヒトとして最も基本的なことであり、大事な生き方です。相手の立場に立って考え、行動できる人に成長して行ってほしいと願っています。また、人をいじめることは、人として恥ずかしい行いです。絶対にしてはいけません。人の良いところを見つけてほめる、困った人がいたら勇気をもって声をかける、そうした積み重ねがあれば、自然と自分の心も豊かになり、すばらしい集団になります。友達の良さを認め合い、お互いに助け合い、そして高め合える仲間づくりをして行ってください。・・・(略)

令和5年度 第45回 入学式



2・3年生の皆さん！進級おめでとうございます。

4月10日（月）、午前中には新任式と始業式を行いました。その際に2、3年生に向けた話の内容を一部紹介します。

新しい生活をスタートさせるときよく「心を入れ替える」という言い方があります。みなさんには、心を入れ替えるということ、**「言葉を入れ替える」と置き換えて考えてみてください。**言葉は相手に伝えるだけのものではなく、私たちは、いつも自分の話す言葉を自分でしっかりと聞いています。「もう無理、もうできない。めんどくさい。どうせ私なんか」と、努力をしないで諦めてしまう言葉を使っている人は元気がでませんね。みなさんは「なにになにがしたい、できるようになりたい。もっともっとうまくなりたい」と、前向きな言葉を大切にしてください。どのような言葉をいつも使うかで、みなさんの成長のスピードは大きく変わってきます。

よき言葉が習慣化していけば、人はその通りの人になっていくのです。みなさんの可能性は無限大、前向きな言葉を大切に**「なりたい自分」**を目指してください。みなさんにとって、この1年間が大きく飛躍する年になることを期待しています。